

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関して、家族が気軽に意見や要望を表せる機会を設けることが不十分であるように思う。面会時やケアプラン説明時などでは行っているが、それ以外にも、積極的に要望等を把握することを行っていく必要がある。	家族の思いを受け止め、良い関係作りをすすめる。	・面会時、ケアプラン説明時などの機会を大切にし、会話の中から要望等をくみとっていく。 ・利用者の生活状況など、丁寧に情報交換をし、家族との信頼関係を築く。	12ヶ月
2	26	プラン作成時に利用者・家族の参加が少ない。要望等の把握は日常的に心がけているが、今後は、前もっての参加を呼びかけることの大切さを認識し、取り組んでいく必要があると考える。	プラン作成時から家族の参加をよびかけ、家族と一緒にケアに取り組む体制づくりをはかる。	・ケアプランに基づいたケアを実践することの意味について、家族と意見交換し、利用者のケアと一緒に考えていただく機会とする。 ・利用者のケアについて、職員間だけでなく、家族にも気軽に相談できる関係作りに努力する。	12ヶ月
3	13	ユニットごとに主任を配置し、ユニット運営についての責任体制の確立に努めている。その中で、職員の思いの把握、ケア実践への反映などを目指しているが不十分な部分があると感じている。	ユニットごとの運営体制の確立をはかる。	・主任会・管理者会等を通して、管理職員の意識を高め、組織の中での役割の認識を図る。 ・ユニットの状況把握に努め、課題解決の過程の中で協力体制が取れるよう配慮する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。